



君津支部かわら版

VOL.54

令和3年6月30日発行
編集 君津支部広報委員会
発行 支部長 斉藤 孝一



東京湾第二海堡見学会 5/23 (写真提供 君津支部 田村 啓 氏)

- ◎ご挨拶 . . . 支部長 斉藤 孝一
- ◎行政から . . . 県土整備部君津土木事務所建築宅地課長 泉水 克裕
. . . 木更津市 建築指導課長 榎本 一夫
. . . 君津市 建築指導課長 大野 悦雄
. . . 袖ヶ浦市 都市建設部 次長(兼)都市整備課長 大野 博之
. . . 富津市 都市政策課長 義崎 哲也
- ◎君津支部の動向・今後について . . . 副支部長 伊藤 啓司
- ◎第二海堡上陸見学会 . . . 青年委員 藤本 祥
- ◎編集後記 . . . 広報委員 岡山 知美子



◎ご挨拶

千葉県建築士会君津支部 支部長 斉藤 孝一

向夏の候、新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。また、日頃より建築士会活動にご協力いただきまして有難うございます。

さて、5月15日にコロナ禍の中ではありましたが、しっかり感染対策に取り組みながら、支部総会を開催させていただきました。少人数の参加者ではありましたがご参加されました皆様、ご多用の中お疲れ様でした。

君津支部の資料によると、君津支部は今年の11月5日で「創立70年」を迎える事となります。貴重な資料である、創立30周年記念誌「あゆみ」（昭和56年5月22日発行）を読ませていただきました。40年前には270名程の会員数にのぼり、私達の先輩方が活発な活動そして、活躍されている様子が写真とともに掲載されていました。当時は「2級建築士受験準備講習会」なども行っていた様です。その後会員数は増え続けて300名を超える事となります。今現在、会員数110名（令和3年4月1日現在）となっています。人口減少、建築士受験者の減少等の影響もあると思う言い訳をさせていただきますが、これからも皆様よりご協力をいただきながら私自身会員の一人として、この伝統ある君津支部を盛り上げていきたいと思っています。

話を変えさせていただきますが、君津支部では4月に入り、新入会員として3名の若い方の入会がありました。今後行うイベントや講習会等に積極的にご参加いただき、お会いできる事をとても楽しみにしています。そして、これからのご活躍を期待しています。

最後に、何かと不便の多い今日この頃ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願っております。



◎行政から

県土整備部君津土木事務所 建築宅地課長 泉水克裕

千葉県建築士会君津支部の会員の皆様には、日頃より建築行政にご協力を頂き、誠にありがとうございます。

現在、千葉県においては新型コロナウイルス感染症対策として、まん延防止等重点措置が適用され感染防止対策に取り組んでいるところですが、まだまだ終息が見えてこない状況のなか、皆様には令和元年の台風により被害を受けた家屋等の修復にご協力をいただいております。

この4月の人事異動により、建築担当においては、滝本技師が企業局管理部財務課に、今野技師が県庁建築指導課に転出され、新たに松山技師が新規採用職員として当課に配属され、昨年より金子技師が臨時的任用職員として引き続き当課の業務にあっております。また、宅地担当においては、坪松主査が県庁都市計画課に転出され、市川技師においては3月末をもって県を退職されました。そして新たに酒井副主幹が印旛土木事務所より転入され、永井技師が新規採用職員として当課に配属されました。今年度は、新たなこのメンバーと共に業務を進めてまいりますので宜しくお願いいたします。

結びになりますが、千葉県建築士会君津支部の皆様におかれましても、コロナ禍の影響により思いどおりにならない日々をお過ごしのことと思いますが、気を緩めることなくお過ごし頂ければと思っております。簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

木更津市 建築指導課長 榎本 一夫

千葉県建築士会君津支部の皆様におかれましては、日頃より本市の建築行政にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月1日の人事異動で建築指導課のメンバーに変更がありましたのでお知らせいたします。建築指導課長は榎本、建築審査係は坂上係長、宮澤副主幹、時澤主任技師、正木技師、泉技術員で、建築指導係は石作係長、石井主査、山口技師、石塚技師の総勢10名となります。時澤主任技師と正木技師については、建築指導業務が初めてとなりますので、多々ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

昨年度末に、「木造住宅耐震改修事業補助金等交付要綱」を改正いたしまして、従来、市の耐震診断事業を行った者だけを補助対象としておりましたが、自ら一定基準を満たす耐震診断を行った者についても、耐震改修補助金を交付できるようにいたしました。また、木更津市に確認申請を提出する場合の添付書類で「放流先等の申告及び有無の確

認書」について、浄化槽設置の場合はこの書類を不要とすることといたしました。ただし、公共下水道に接続する場合は、引き続き同書類が必要となりますのでご注意ください。様式についてはHPにて公開をしておりますのでご参照ください。また、今年度は「耐震改修促進計画」の改訂を予定しております、7月1日から意見公募を開始いたします。是非ご意見をいただければと思いますので、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様方の益々のご健勝、ご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

君津市 建築指導課長 大野 悦雄

向暑の候、千葉県建築士会君津支部の会員の皆様には、日頃より君津市の建築行政に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市の建築指導課における令和3年度の体制ですが、新規採用として中島主任技師が配属され、新たな体制でのスタートとなりました。

本年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染対策による社会への影響は大きく、テレワークの推進など今までとは違う生活様式が求められ、「おうち時間」を充実させるという意識から住宅への関心が高まってきております。そんな中、本年4月より省エネ性能の説明義務化の法改正も施行され、建築技術者に求められる役割は今まで以上に大きいものがあります。今後も貴会と連携した社会貢献が進められます様、一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、千葉県建築士会君津支部の更なるご発展と、会員の皆様の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

袖ヶ浦市 都市建設部 次長（兼）都市整備課長 大野 博之

千葉県建築士会君津支部会員の皆様には、日頃から本市の建築行政に対し、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、一昨年の台風・大雨による災害により、市内家屋にも大きな被害がもたらされ、会員の皆様におかれましては、被災住宅の修理や再建に関する不安や疑問について、相談業務等にご尽力をいただいたことに重ねてお礼申し上げます。

本市では、定期的に耐震相談会を開催しており、相談者の中には、将来の住まいの悩みをお持ちの方が多くいらっしゃいます。被災を機に空家となる家屋もあり、復旧やリフォーム、利活用に係る専門分野の相談が現在も多数寄せられています。そこで、「建築士の日（7月1日）」の行事である住宅相談会を市会場で開催していただき、新しい

試みとして市の耐震、空家相談と合同の相談会を開催する運びとなりました。建築行政を円滑に進めていくために、貴重な機会となるものと期待をしておりますので、皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和2年7月に「袖ヶ浦市都市計画マスタープラン」を策定し、本計画では、地区計画の内容に沿って、限られた地域の中で計画的な土地利用を許容する方針を示しており、地域や地権者の皆様の提案による地区計画制度を活用したまちづくりが図られるよう、「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」を策定しました。これにより、地区レベルのまちづくりが可能となり、計画的なインフラ整備等により良好な街並みの形成が期待されるところであります。

会員の皆様におかれましては、このような制度の活用や、今後とも建築行政についてご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、貴支部のご発展と会員の皆様方の益々のご活躍をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

富津市 都市政策課長 義崎 哲也

夏至の候、建築士会君津支部の皆様には、日頃より富津市の建築行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

一昨年から令和元年台風15号等により住宅が被災した方を対象に実施している、災害救助法による応急修理や被災住宅修繕緊急事業については、被災した屋根にブルーシートが覆われていた住宅が多かった頃を比べると、建築士会の皆様のご尽力により復旧が進みましたことを深く感謝申し上げます。今後も市民が安心して暮らせるよう復旧に全力で取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症により、社会活動に制限されることはありませんが、木造住宅の耐震化を進めることを目的として実施している「わが家の耐震相談会」、「木造住宅耐震診断事業」及び「木造住宅耐震改修事業及び耐震改修と併せて行うリフォーム補助事業」について、より一層の普及に取り組んでいきたいと考えています。

「わが家の耐震相談会」については、新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら、6月27日（日）、7月25日（日）、8月29日（日）、10月24日（日）に開催を予定しておりますので、今後も建築物の耐震化にご協力下さるようお願いいたします。

結びに建築士会君津支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



◎君津支部の動向・今後について

千葉県建築士会君津支部 副支部長 伊藤 啓司

初夏の候、建築士会君津支部の会員の皆様どうお過ごしでしょうか？

令和に入りまして、台風 15・19 号による被害、新型コロナウイルス蔓延で緊急事態宣言による自粛、最近では輸入建設資材の高騰によるウッドショックなど大変混沌とした毎日ではないかと思えます。コロナ禍がなかなか終息しない中、建築士会本部・君津支部とも令和3年度通常総会をコロナ感染防止に対応しつつ少人数で開催し無事終える事が出来ました。これも皆様の御協力のおかげかと存じます。君津支部の事業の開催もコロナ禍に対応しつつ、少しずつ事業を進めていきたいと思っています。各委員会の委員の方は大変だと思えますが、事業推進の方をよろしくお願いします。

副支部長就任以来の投稿で、何を伝えたら良いか解らないのですが、私の今現在の活動状況と、君津支部の所見と会員皆様へのお願いを投稿します。私も建築士会に入会して早29年目となります。本部の総務委員会にも任命されて早7年目となりました。その他本部の月1回の建築相談室の委員にも参加しています。ついでに地元も消防団にも在籍しています。(29年目です。)なので1年があっというまに過ぎてゆきます。時の流れは早いものです。

私が思う君津支部の所見ですが、千葉県建築士会は21支部あり、各支部の活動は支部ごとで温度差があり人口の多少に関わらず良く活動を行っている支部と、行っていない支部とがあります。事業その他の活動状況を見ますと、君津支部は動いている人数が少ない中で、とても良くやっている方だと思います。本部からも良い評価を得ていると自負しています。それと最近の君津支部の会員状況ですが、退会される方が多くなってきましたが、少しずつ若い建築士の会員が増えてきて活性化の兆しがあると思います。事業に参加出来る若い会員の方が増えると良いと切に思います。

少子高齢化・情報のI・T化等で会員数が激減していますが、会員増強ではなく、いかに減らないようにするかが今後の課題だと思います。それには、今はコロナ禍で動きづらいますが、各委員会の事業の推進や他の団体等のコラボ企画などの開催に向けていきたいと望みます。会員の皆様にもお近くにいるまだ未入会の建築士の方又は他の団体に声をかけて頂きたいと思えます。皆様のひとりひとりの力が会の力です。

今後の君津支部の活動ですが、ズームによるリモートでの講習会・勉強会などを企画したいと思えます。各会員の皆様も諸事情いろいろあると思えますが、奮って参加して頂きたいと思えます。

最後に、コロナワクチン接種が早く進みコロナ禍が終息しますようにとお願いするとともに、会員の皆様もご健康に留意して頂き、この会の存続・発展にご協力して頂きたいと存じます。

何卒よろしくお願い致します。



◎5月23(日)第二海堡上陸見学会を開催しました

千葉県建築士会君津支部 青年委員 藤本 祥

ここ数年はバスを借りて見学会を開催しておりましたが昨年はコロナの影響でやむなく中止、今年もバスでの見学会はとりやめることとし代わりに近場で何か目玉になるようなものはないものかということで普段はめったに行けない富津沖の第二海堡の上陸見学会を開催することにしました。

ここはかつて一般人立入禁止であったのですが 2~3 年前頃より各旅行会社のツアーを通じて一般人も立ち入れるようになりました。この見学会は気象条件により中止とするため、ガイドさんによると普段の催行率は6割程度、2月頃だと3割程度にも落ちるそうですが、この日はコロナの緊急事態宣言中であることと併せて、直前までは雨天続きの予報で開催が危ぶまれましたが、奇跡的に天気にも恵まれ無事に開催することができました。



第一海堡と富津市街

東の軍艦島とも称される第二海堡は富津沖にある第一・第三海堡(※撤去され現存せず)と共に外国戦艦に対する首都防衛のための人工島として 1889(明治22年)に着工、上部の軍事施設の完成は 1914(大正3年)と長期にわたる工事となりました。

27センチカノン砲をはじめとする大砲の他、レンガ造の基地や兵舎などの建築物も設けられました。これらの遺構が一部残っており明治時代の工法や建築

様式を垣間見ることができます。やがて時代は第二次世界大戦となりますが戦艦から航空機へ主力が変わってゆく時代にあっては対空砲ものに設置されましたが、先のカノン砲の出番はほとんどないまま終戦となりました。

現在の第二海堡は護岸工事がなされ、砲台跡の上に灯台、レーダー、高性能の監視カメラが設置され船舶の安全航行の役目を担っています。また第二海堡一角には海上災害防止センターという船舶火災などを想定した訓練施設があります。訓練では実際に多量の原油に引火させて火災を再現することもあるためこの時の黒煙が富津岬あたり



第二海堡の灯台と監視カメラ

りからも見えるようで、もし時々富津沖に時々上がる火災のような黒煙は何なのか気になっていた方がいましたらこの時のものかと思えます。

コロナの方もようやくワクチン接種が始まったところですが、収束してこれまでのような見学会や懇親会も普通に行えるようになれる日が早く来ることを願います。



第二海堡近くを航行する護衛艦



編集後記

ウッドショックの風が吹いている中、影響を受けている会員の方々も多いと思われます。アメリカ、中国の需要拡大、コロナ禍による海上物流の混乱も原因の一つだそうですが、建築材料の7割を輸入に頼っている現実があります。

政府は2030年度の国産材の供給量を2019年度実績比35%増の、森林・林業基本計画を決定したそうです。二酸化炭素の吸収量を増やし脱炭素につながる様です。

コロナ禍は様々な気づきをもたらしてくれますが、そんな中先日青年・女性委員会による見学会に参加させていただきました。色々とお苦勞されたと思いますが、久々に土会の方々にお会いでき嬉しいひと時を過ごすことができました。企画、実行された藤本さんはじめスタッフの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報委員 岡山 知美子

かわら版についてのご意見、ご希望がありましたら下記アドレスまでお寄せください。お待ちしております。

アドレス：emiko-daishima@hb.tp1.jp

広報委員長 代島 恵美子

事務局

〒293-0001

千葉県富津市大堀1335番地

TEL・・・090-6103-7185

FAX・・・0439-29-7272

E-mail・・・chibakenchiku@sikaikimitu.parallel.jp

